

こんにちは

庄内町議会

です



No.80
9月議会号
5.11.1



君よ 風に舞え

立谷沢南部山村広場

ファンデュ-回月山

エンデュ-回

関連記事 P24

- ◆風車撤去…………… 〈議案・補正予算〉 P. 2
- ◆町債 5億円減額…………… 〈決算〉 P. 4
- ◆どう使われたか…………… 〈決算特別委員会〉 P. 6
- ◆町政を問う 12人が登壇…………… 〈一般質問〉 P.13
- ◆生かせ提言…………… 〈常任委員会報告〉 P.20
- ◆開かれた議会へ…………… 〈参考人からの意見〉 P.22

山形県庄内町議会
Eメールアドレス
ホームページ

〒999-7781 庄内町余目字町132-1
gikai@town.shonai.yamagata.jp
town.shonai.lg.jp

電話 (0234) 42-0188

〈編集〉 庄内町議会広報常任委員会
〈印刷〉 富士印刷株式会社

庄内町議会

9月
定例会

会期

9月5日(火)から
19日(火)まで

令和4年度
各会計決算の認定
8件

令和5年度
各会計補正予算
5件

条例制定
4件

条例設定
1件

契約案件
2件

事件案件
3件

人事案件
2件

議 発
3件

以上**28件**
原案どおり
可 決

議案

このように
決まりました

契約案件

令和5年度庄内町営風力発電所
撤去工事(第1期)請負

5 契約の相手方	4 契約金額	3 工期	2 工事場所	1 工事名
株式会社西島製作所仙台支店 支店長 牧野 博隆	9152万円 (うち消費税額832万円)	着工 議会議決の日の翌日 完成 令和6年3月29日	庄内町狩川地内	令和5年度庄内町営風力 発電所撤去工事(第1期)



なごりおいしいね……

指定管理者決まる

3 指定の期間	2 指定管理者	1 施設の名 称
令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで	庄内町余目字土堤下38番地1 十和建設株式会社庄内町支店 支店長 後藤竹也	八幡公園 フラワーガーデン

3 指定の期間	2 指定管理者	1 施設の名 称
令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで	庄内町古閑字古館66番地2 株式会社工藤建設 代表取締役 工藤 隆	ふれあいひまわり広場

人事

人権擁護委員

令和5年12月31日で任期が満了することから、再任として提案されました。任期は3年です。(敬称略)

飯澤 藤夫(興野)



賛成全員で
同 意

情報公開・個人情報保護審査会委員

令和5年9月30日で任期が満了することから、5人の委員を任命することが提案されました。任期は2年です。(敬称略)

石井 範子(廿六木)
高橋 茂規(松陽)
田澤 功(囀町)
齋藤 清司(杉浦)
藤井 清司(杉浦)

賛成全員で
同 意

補正の ポイント

物価高騰対策



一声かければ かんたんです

庄内町キャッシュレス決済 ポイント還元事業

9301万円

キャッシュレス決済によるポイント還元は20%で、利用期間は11月の1箇月です。

令和5年度一般会計補正予算(第4号)は、予算総額に収入支出それぞれ2億6343万円を追加し、総額130億8104万円とするものです。
主な支出としては、庄内町キャッシュレス決済ポイント還元事業9301万円、農業水利施設原油価格高騰対策事業補助金550万円、高齢者、障がい者施設等物価高騰対策支援事業514万円等です。

農業水利施設原油価格高騰 対策事業補助金

550万円

電気料金高騰等の影響をうけている、土地改良区の経営を支援します。
支援内容は、令和5年4月から9月までの電気料金上昇分の一部で、補助率は2分の1となります。



揚水機の電気料上昇中

高齢者、障がい者施設等 物価高騰対策支援事業

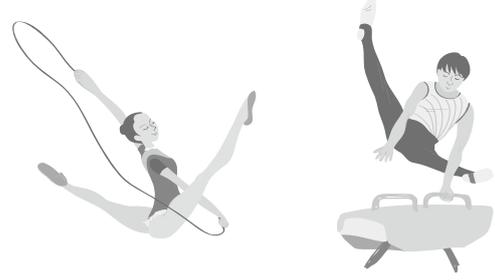
514万円

町内の高齢者施設・事業所(14事業所)と障がい者施設(9事業所)を支援します。

設計業務 委託料

276万円

体操センター解体にともなう、体操競技の代替練習場として、余目第四小学校の講堂を改修するために追加するものです。



町の借金 5億円減額

経常収支比率 再び悪化

一般会計

賛成全員で認定

令和4年度の一般会計決算は、収入支出とも前年比減額となりました。コロナ関連等の補正は、計9回を数え、感染拡大防止に努め、地域経済の支援を行いました。町の借金にあたる町債現在高は、前年度より5億円減の15.1億となりましたが、経常収支比率は95.9%と前年度より5.1ポイント増える結果となりました。

収入（歳入）

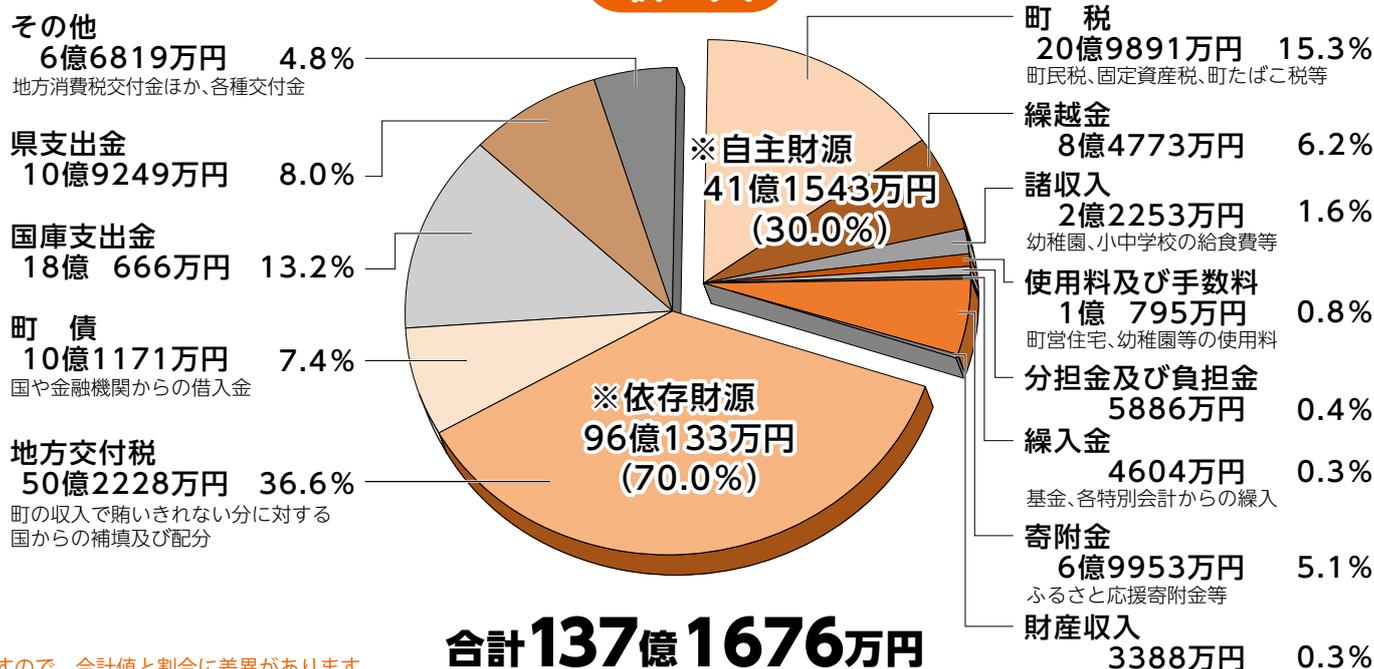
自主財源である町税は、個人町民税で給与所得は増額しましたが、農業所得で減額したことで、所得割額は減額となりました。法人税割額が大幅に増額したこと等により、町税全体では、前年度より増額となりました。地方交付税は前年度より3億1千万円減となりました。



笑顔あふれる庄内町に

認定こども園からふる

収入



※ので、合計値と割合に差異があります。

令和4年度 決算

普通建設事業費 大幅な増額

特別会計・企業会計 ガス事業を除き黒字決算

特別会計

国民健康保険	〈収入〉	22億 2650万円	賛成
	〈支出〉	21億 5637万円	全
後期高齢者医療保険	〈収入〉	2億 6743万円	賛成
	〈支出〉	2億 6367万円	全
介護保険	〈収入〉	29億 7435万円	賛成
	〈支出〉	28億 930万円	全
風力発電事業	〈収入〉	5827万円	賛成
	〈支出〉	4324万円	全

企業会計

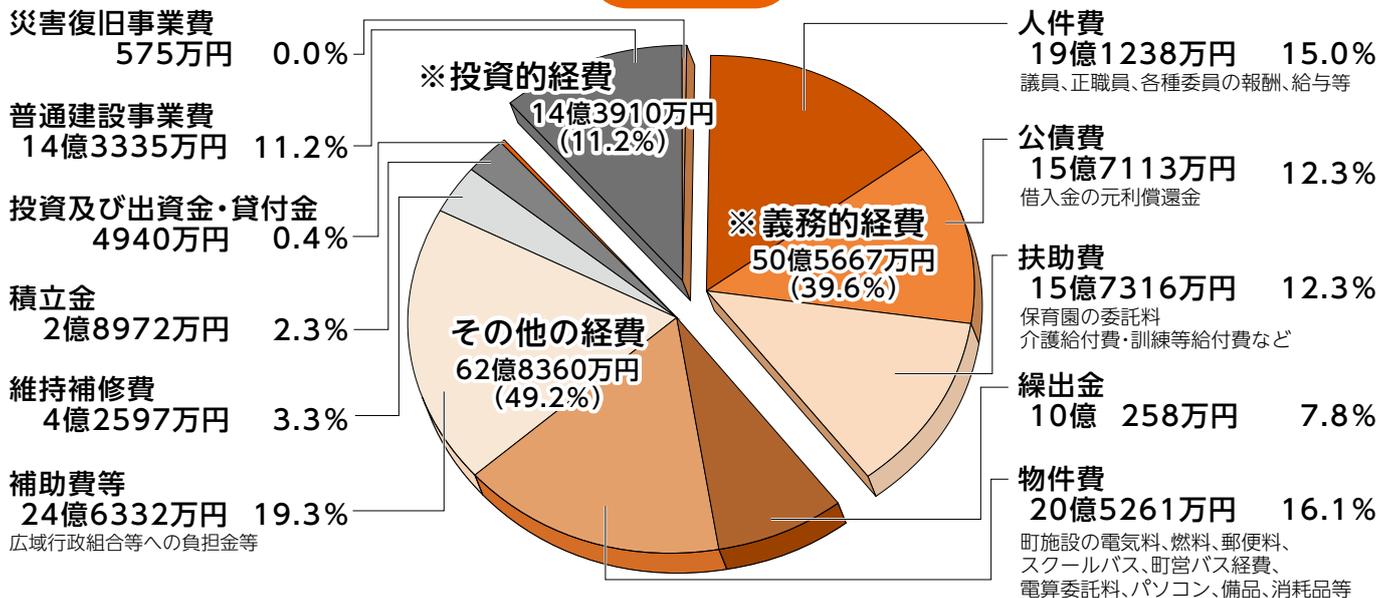
水道事業会計 (収益的収支)	〈収入〉	5億 7442万円	賛成
	〈支出〉	5億 4788万円	全
下水道事業会計 (収益的収支)	〈収入〉	9億 2750万円	賛成
	〈支出〉	9億 1368万円	全
ガス事業会計 (収益的収支)	〈収入〉	5億 3882万円	賛成
	〈支出〉	6億 3304万円	全

支出 (歳出)

義務的経費では、前年度より約3億3千万円の減額、その他の経費で、約3億3千万円の減額となりましたが、投資的経費では約5億3千万円の増額で、増加した主なものは普通建設事業費の立川総合支所改修工事と道路新設改良費等です。



支出



合計 **127億7937万円**

(各決算額を1000円台で四捨五入しています)

どう使われたか

令和4年度 決算特別委員会

審査日 9月12日、13日、14日
 一般会計、特別会計、企業会計
 全8案件原案どおり認定

決算特別委員会とは

議会が承認した予算が適正に執行されたかを審査し、その行政効果や経済効果を住民に代わって評価します。審査の結果は後年度の予算編成や行政執行に生かされます。



委員長 小野 一晴
 副委員長 吉宮 茂

全通告内容の一部を掲載しています

(太字を掲載)

No	委員名	発言内容	担当課
1	工藤 範子	社会福祉協議会補助金及び民生委員・児童福祉委員協議会運営交付金、一人暮らしの訪問放課後児童健全育成事業運営体制 がん対策事業費 がん検診の受診状況 資料 16 主な財政指標 P.7 掲載	保健福祉課 子育て応援課 保健福祉課 総務課
2	阿部 利勝	通学通園対策事業 P.8 掲載 ○スクールバス運行委託料 ○冬季スクールバス運行基準を500m減じた場合の委託料の試算は 読書普及事業 ○電子書籍等のデジタル読書 文化創造館運営費文化創造館大ホール 舞台照明設備改修工事 ○約700万円の不用額 ○電気代は 消防団運営費 ○操法大会を取りやめた経緯と、その成果	教育課 社会教育課 社会教育課 総務課
3	スルタン ヌール	高齢者世帯等雪下ろし支援事業費 ○対象世帯の件 通学通園対策事業費 P.8 掲載 ○スクールバスを利用した園児・児童・生徒数(冬期は通年含む)	保健福祉課 教育課
4	上野 幸美	定住促進空き家活用住宅管理事業 ○これまでの事業の総括と令和5年7月11日をもって事業終了の理由、空き家バンク制度との違いは 定住促進対策事業費 ○空き家バンク 集落支援員事業費 P.8 掲載 ○指定管理者制度導入組織における集落支援員の役割、地域ビジョンの計画実施に向けた考え方	企画情報課

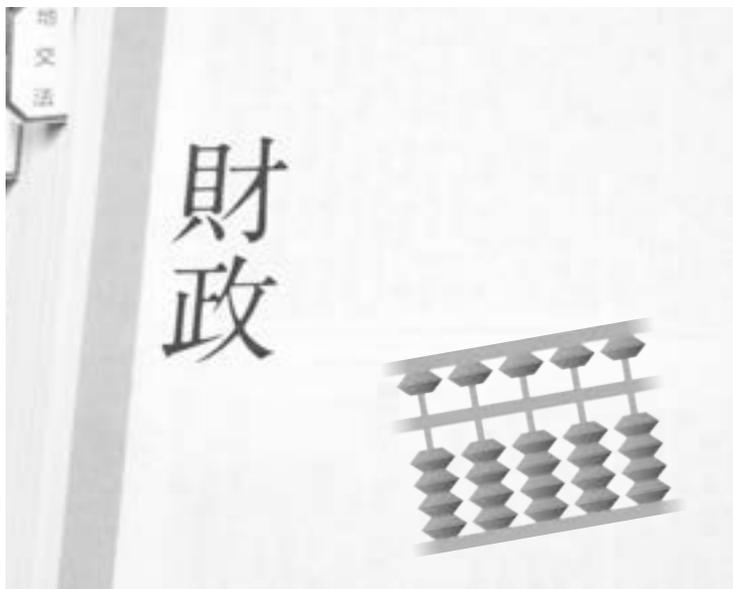
総務・文教・厚生

全質疑内容は
 議会ホームページの
 中継録画で閲覧できます。



庄内町議会HP

No	委員名	発言内容	担当課
5	石川 武利	ふるさと会事業費 ○東京庄内会（特産品の販売、地元企業の協力体制） 交通安全施設設備費 ○道路反射鏡の新設・更新 社会福祉総務費 ○ひきこもり対策、ひきこもり相談等 保健体育総務費 ○スポーツ推進審議会 P. 9 掲載	企画情報課 環境防災課 保健福祉課 社会教育課
6	渡部 伊君子	庄内総合高等学校支援事業 P. 8 掲載 ○通学時の経費助成の割合 ○資格取得の経費助成の見直しは ○褒賞終了の理由は 在宅老人対策費 ○予算額に対して決算額が半分になったと思われる要因 ○健康ライフ応援事業の利用割合は 広報広聴費 ○まちづくり提案箱	企画情報課 保健福祉課 企画情報課
7	奥山 康宏	職員研修費 ○予算額と決算額 派遣職員への研修 賦課徴収事務費 ○償却資産の増加 ○滞納整理の取り組み状況	総務課 税務町民課
8	伊藤 和美	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 ○課題の把握と解決策の模索の結果 児童福祉支援事業 ○個別ケース会議が増えている。その理由は 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 ○低所得の子育て世帯に対する支援策の検討の内容 子育て支援センター運営費 P. 8 掲載 ○子育てお助け事業の活動実績が年々減っているが、その要因と対策は 母子保健事業 ○2歳児歯科検診個別の実施率が低い、その要因と対策は	保健福祉課 子育て応援課 子育て応援課 子育て応援課 子育て応援課
9	吉宮 茂	特別職の給料 ○町長等三役の給料については合併以来同額である。報酬等審議会に諮問すべきでは 庄内開発協議会負担金 ○中央要望のあり方は 令和4年度育英資金貸付基金の運用状況 ○貸付額の拡大と返還未済額の内訳	総務課 企画情報課 教育課



財政は健全だが……

総務

**経常収支比率悪化
福祉を削るな**

工藤 範子 委員

問 経常収支比率は、令和3年度より4年度は5・1%増の95・9%である。町村普通会計決算状況では、平均90・5%であり、経常経費の抑制に留意しなければなら

ない。住民福祉向上には比率を下げる努力が必要要件である。必要のない無駄な施設の総点検を実施すべきである。現在のままだと、福祉を削り住民負担の増に繋がっていくし、町民は困っている。

答 福祉の向上を含め、あらゆる行政に影響が無いようやっていきたい。

企画情報

庄内総合高等学校への支援

渡部 伊君子 委員

問 資格取得時の経費助成の他に、さらに合格者に褒賞としてゆりカードを交付していたが、令和3年度をもって終了したのはなぜか。

答 令和4年度から開校にあわせ支援内容を見直し、入学時助成や褒賞は終了したが、生徒活動支援は拡充し、通学費・資格取得助成は継続としている。資格取得助成の対象も含めあるべき支援について今後検討したい。

また、受験対象の資格を限定せずに希望の資格に助成してはどうか。



充実した高校生活を

各学区集落支援員配置の今後

上野 幸美 委員

問 各地区活動組織は、総務省の集落支援員事業を活用して地域ビジョンを作成している。令和5年度は配置終了の3年目だ。ビジョンの実施はどうなるのか。

答 地域の実情を聞き取りして判断したい。

子育て応援

子育てお助け隊事業を活用せよ

伊藤 和美 委員

問 子育てお助け隊事業の活動実績が年々減ってきている。この現状をどう捉え、対策は考えているか。

答 要因はお助け会員の高齢化や

周知不足が考えられる。会員の登録は短時間で済ませよう工夫し、事業の周知に一層力を入れたい。

教育

冬期スクールバス運行基準を見直せ

阿部 利勝 委員

問 近年、通学路の保護者より、冬期スクールバスを運行していただきたいとの要望が多い。小学校の冬期スクールバス運行基準を500メートル減じた場合、委託料の試算はどうか。

答 約1・5キロで想定した場合、ピストン運行することで最初に到着する児童が10分早まる。令和4年度の予算内で運行は可能であったが、現在先生方は降車時の見守

り等を行っており、勤務時間が早くなるのが課題である。

冬期スクールバス運行はどうか

スルタンヌール 委員

問 冬期間の特例バス通学は2キロ以内とあるが、他の要望集落にバスが出なかつた理由はなぜか。

答 学校から集団で帰れない集落は、スクールバスを特例で運行しているが、要望があつた集落は、12月に集団で下校している状況を確認している。なお、悪天候の時は臨時にスクールバス乗車の対応をとっている。



バス通はありがたいな

石川 武利 委員

問

町ではニュー
スポーツの普及
に力を入れているが、
同時にスポーツ協会加
盟団体構成員の拡大普
及にも力を入れるべき
と思う。その際、スポー
ツ振興基金の活用を提
案したい。

答

スポーツ協会
と連携し拡大を
図りたい。



よっしゃ！がんばるぞ

全通告内容の一部を掲載しています

産業・建設

No	委員名	発言内容	担当課
1	工藤 範子	北月山荘等管理事業費 ○今後の運営のありかたは 観光特産対策事業 ○町の物産 PR	立川総合支所 商工観光課
2	阿部 利勝	庄内町キャッシュレス決済ポイント還元事業委託料 ○ PayPay 事業の課題と商工会との協議 防雪柵設置撤去委託料 ○集落に委託してる防雪柵 防災・安全社会資本整備交付金事業 町道吉岡廻館 線道路改良工事 ○舗装のひび割れ 生産調整推進対策費 ○水田麦・大豆生産性向上事業費補助金	商工観光課 建設課 建設課 農林課
3	上野 幸美	多面的機能支払交付金事業 P.11 掲載 ○広域化に向けてのワークショップ開催の状況、 広域化に向けての組織の課題 観光物産対策事業 ○町観光協会事業費第1回しょうない氣龍祭、 観光交流人口の増加 空家対策事業 ○老朽空家解体支援事業補助金活用実態と相談内容 ○自治会からの聞き取り、追跡調査	農林課 商工観光課 建設課
4	加藤 将展	ふるさと応援寄付金事業費 ○資金使途（使い道の）の実績 カートソレイユ最上川管理事業費 ○事業費の中身と今後の修繕費用計画と収入の 見通し 水産産業振興事業 ○内水面漁業振興の取り組み 中心市街地商業等活性化対策費 P.10 掲載 ○まちづくり助成金の対象事業の拡大 新産業創造館管理事業 ○決算執行額の中身は 6次産業化推進事業 ○米のブランド化の経緯は ○ジュンサイや鮎のブランド化	商工観光課 商工観光課 農林課 商工観光課 商工観光課 商工観光課

No	委員名	発言内容	担当課
5	スルタン ヌール	6次産業化推進事業 ○地域6次産業化推進事業 ○地域ブランド創生事業 空家等対策事業 P.12 掲載 ○老朽空家解体支援事業補助金の使い方、詳細は	商工観光課 建設課
6	奥山康宏	ふるさと応援寄附金事業費 ○寄附金に占める返礼品、運賃、その他経費を加味した割合 除排雪対策費 P.12 掲載 ○防雪柵の補修	商工観光課 建設課
7	吉宮茂	庄内町畜産農家等応援補助金 P.11 掲載 ○対象となった項目は 庄内町農業再生協議会補助金 ○会議開催回数と提議内容は 庄内町温水プール改修工事等支援事業補助金 ○支払いした理由は 町道維持補修管理工事 ○交通安全確保のため担当部内としてどう配慮しているのか	農林課 農林課 商工観光課 建設課
8	石川武利	地域振興課 ○カートソレイユ自主事業（キッズカートスクール、レンタルカート、タイムトライヤル）、成果は 作物生産安定対策費 P.11 掲載 ○鳥獣被害防止対策（電気柵、ワイヤーメッシュ） 水産産業振興事業 ○淡水漁養殖販売拡大 道路維持費 ○防雪柵設置は	商工観光課 農林課 農林課 建設課
9	伊藤和美	地域おこし協力隊事業費 P.10 掲載 ○商品開発の成果は 風車村管理運営費 ○遊具や施設等の老朽化の対応は	商工観光課 立川総合支所
10	齋藤秀紀	水田活用の直接支払い交付金 P.11 掲載 ○5年水張ルールとしての初年度として周知と対策は 第1回しょうない氣龍祭 ○結果と今後は	農林課



新しい味で挑戦

答 商品開発した芋煮は「メイドイン庄内町プロジェクト」の報告会の報告会で発表、試食を実施。参加者は34名。今後、本格的な商品展開に向けて責任を持ち取り組んでいく。

問 商品開発「芋煮」の成果を問う。地域の所得向上と地域資源の有効活用について検証はどうか。

伊藤 和美 委員

商品開発した「芋煮」の成果は

商工観光

答 商店街の活性化だけではなく環境整備や交通の問題なども考えていきたい。小規模企業振興基本法の制定に伴い、店舗の支援や商店街・商工業の活性化事業についても考えていく。

問 中心市街地活性化対策として、例えば、はっぴーバスに買い物の手押し車を乗せる。商店街歩道を補修・縁石を撤去する。クラッセの案内版を駅の正面に作る。カラオケ・音楽を楽しむ場所を商店街に作る。駅に小さなエレベーターを設置するなど、検討すべきではないか。

加藤 将展 委員

中心市街地の活性化に取り組み

※家きん農家：鳥を肉や卵を利用する目的で長い年月にわたって飼育している農家

農 林

町農協管内のワーク ショップの内容は

上野 幸美 委員

問 農業者の高齢化、離農による非農家の増加等の中、多面的機能支払交付金事業について、令和4年度の余目町農協管内ワークショップの内容は何か。

答 各組織が抱える課題を共有し、その課題解決のために意見交換を行った。町としては、町農協や最上川土地改良区と事務委託等について検討している。

飼料の高騰対策は万全か

吉宮 茂 委員

問 コロナウイルス又感染症対応として、畜産農家に対して補助金の交付をしているがその内訳は何か。特に畜産農家のかかえる課題として消費の減少によって価格の低下を余儀なくされている。

答 飼料の高騰に対する支援として、町内の養豚農家9戸、肉用牛の肥育、繁殖農家8戸、酪農家に4戸、※家きん農家3戸に對し行った。配合飼料は、全畜種1トン当たり2700円、粗飼料は肉用牛、酪農経営体に対し畜種毎の単価に基づき支出した。



経営に赤信号 飼料安くないか



被害がないといいね

鳥獣被害防止対策 電気柵の普及は

石川 武利 委員

問 電気柵の設置は、申請により実施されている。今後は、一定距離100メートル程度の事業予算化を進め、被害防止と疫病対策にすべきと思うが町の考えはどうか。

答 要望調査に基づき行っている。

見直しを要求せよ

齋藤 秀紀 委員

問 令和4年〜8年までの5年間で水張ルールが始まっているが、内容が理解できない。周知も生産者全員を対象としたこともなく、矛盾と不安が広がっている。

特にペナルティが何故あるのか。庄内町は、遊休農地がなく健全であることからこのルールは不適切であると思う。見直しを要求すべきでないか。

答 運用の改善等を国・県へ要望していくとともに、運用に関する情報提供を継続して行っていく。



減反協力でペナルティーは変

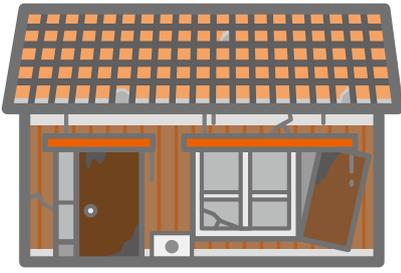
建設

空家解体支援事業補助金

スルタン ヌール 委員

問 空家解体支援事業補助金は12件と決まっているのか。辞退した方が出た場合の対応は追加等の募集をするのか。

答 件数については過年度の申請状況を考慮しての予算で執行している。辞退がある場合の追加募集の対応はしていない。



防雪柵の早期補修を

奥山 康宏 委員

問 町道における防雪柵について、曲がった状態のものや老朽化が進んだものが見受けられる。強風の際、防雪柵の脇を通ると、鉄板が飛んでくるのではないかと、不安を感じることがある。激しく痛んでいる防雪柵に関しては、補修が必要であると思われるが、補修対応はしているか。

答 優先順位に基づき、本小野方廻館廿六木線の補修を行った。他の路線でも、傷んでいる支柱や部材の交換を実施している。

特別会計・企業会計

No	委員名	発言内容	担当課
1	石川 武利	介護保険特別会計 ○家族介護支援事業 ○成年後見制度利用支援事業 水道事業会計 ○経営指標に関する事項 料金回収率 ガス事業会計 ○経営指標に関する事項 料金回収率	保健福祉課 企業課 企業課
2	加藤 將展	水道事業会計 ○旧簡易水道事業の管理運用 風力発電事業特別会計 ○一般会計繰出金	企業課 環境防災課

介護保険

成年後見制度周知を図れ

石川 武利 委員

問 認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方々は、不動産、預貯金財産の管理や施設入所契約など自分ですることが難しい場合がある。それらを保護し支援するのが成年後見制度である。この制度の周知はどうか。

答 認知症高齢者の割合が増加するなか、高齢者の権利を守る制度であることから、引き続き周知を図る必要がある。

水道事業

旧簡易水道事業管理はどうか

加藤 將展 委員

問 平成29年に8つの旧簡易水道施設が町に移管された以降、配水池の清掃は業者の都合で6年に一回となっているが、実施状況と評価はどうか。地元の方の蛇口の水質検査の実施状況はどうか。

答 8施設の配水池の清掃は今年度で一巡する。清掃の頻度に問題はない。蛇口から採水した水質検査も塩素濃度や臭い・濁り等の検査を引き続き実施している。



町民の暮らしやすさを求め

12人が町政を問う

一般質問
9月7日～8日



庄内町議会 HP



日頃の成果を披露 第三小学校スクールバンド(余目八幡神社例大祭)

12人27項目の質問(★印を掲載)

五十嵐 啓一議員…………… P 14
★北月山荘の今後の事業運営
☆新産業創造館(クラッセ)
テナントスペースの事業展開

上野 幸美議員…………… P 14
★児童・生徒の放課後や長期
休暇時の過ごし方と環境整備

工藤 範子議員…………… P 15
★災害時の大規模な避難所の設備
☆小・中学校のトイレへの
生理用品の設置

☆高齢者の鍼・灸・マッサージ等
利用助成

☆北月山荘周辺のPR

渡部 伊君子議員…………… P 15
★ヤングケアラーへの対応

奥山 康宏議員…………… P 16
★スポーツ施設

☆農業振興

吉宮 茂議員…………… P 16
★中山間地域における農業
経営体の育成支援

☆令和4年度に立ち上げを約束
したプロジェクトの進捗状況

伊藤 和美議員…………… P 17
★町民と行政が協働する地域
づくり

☆平和教育
☆登下校における熱中症対策
☆安心して産み育てられる
子ども・子育て支援の充実

石川 武利議員…………… P 17
★地域医療への支援
☆幼稚園の預かり保育

加藤 将展議員…………… P 18
★小・中学校の学区編成
☆新庄酒田道路の建設状況と
周辺の再開発

☆給食費無償化の継続

☆清川地区の風車の騒音問題

齋藤 秀紀議員…………… P 18
★立川複合拠点施設

☆映像通報システム
(ライブ119)

☆生成AIの活用

小野 一晴議員…………… P 19
★役場職員の労働環境

スルタンヌール議員…………… P 19
★物価高騰と光熱費高騰対策

12人の提言

一般質問 Q & A

北月山荘

ビジターセンター的

施設にせよ

町長 現状のまま運営



いがらし けいち 五十嵐 啓一 議員

問 北月山荘の事業運営は、令和4年度、宿泊入浴者合わせて6千人。利用額で約330万円となっている。それに係る運営経費は、約2千万円

の持ち出しで、この額は長年続いている。建物の老朽化も進むなか、このまま運営していくのか。当面、建物は現状のまま活用し、支出の多くを占めている、温泉と宿泊事業を廃止し、北月山荘周辺のロッジやケビンを活用した大自然に触れ合えるビジターセンター的施設として運営してはどうか。



にぎわうといいなあ

町長

北月山荘と周辺施設は、当面現状のまま運営していきたい。月山は、県内で最も登山客の多い山となっており、本町の月山エリア唯一の観光拠点となる施設であり、本町の観光振興にとって重要な施設である。現在、北月山エリアの魅力向上と誘客促進のため、アウトドアメーカーとの連携も進めている。

北月山荘のお客様の多くは、温泉が目的で来ていただいており、温泉事業の廃止ということとは考えていない。また、ビジターセンター的施設としての活用では、ロッジやケビンが老朽化しており、改修が必要となる。当面は宿泊客、入浴客をいかに増やすかということに主眼を置いていきたい。

冷房設置教室を使用させよ

学童保育

町長 教育委員会と協議したい



うえの ゆきみ 上野 幸美 議員

問

学童保育希望者は増加し、保育室面積等の違いはあるが、猛暑の今夏は遊び場の確保など、現場には難しい課題があった。特にふれあいホームわごうは、増設室の



困った 暑さで電源落ちる

町長

学童保育施設は、規模や設備に違いがあり不公平感があるのは確かである。ふれあいホームわごうは、学校施設を使用しており、教育委員会と協議していきたい。

移動手段としての町営バスの無料化については、地域公共交通という面では無料や減免となる対象は限定的であるべきと考えている。

教育長

ふれあいホームわごうで、冷房設備のある普通教室を使用したいという要望があれば、学校と協議をした上で協定を新たに結び直すということは可能と考えている。

冷房効果が低く何度も電源が切れた。来夏は冷房設置教室の使用はできないか、他の施設も今夏を検証し、来夏の検討をすべきであるかどうか。また、中学生の放課後や長期休暇時の居場所として、立川複合拠点施設や図書館活用の移動手段として、町内路線バスへの無料乗車はできないか。

避難場所

急げ 冷房設備

町長 導入に向けて検討



大型施設にも冷房を



くどう のりこ 議員 工藤 範子

問 この夏は、猛暑で各地は台風の被害により体育館や大型施設での避難生活が報道されていた。町の大型施設(体育館ほたるドーム)には、冷房設備がないために、

熱中症や体調を崩される人が多数発生するのではないかと懸念される。そのため、冷房設備が必要であり設置すべきと考えるがどうか。また、普段から非常時の際の心構えが大事であると考えるがどうか。

現在、学校施設の適正規模及び適正配置に関する方針策定を諮問中であり、その答申も考慮し、移動式クーラーの導入も含めて、環境防災課と連携しながら検討したい。また、猛暑の中、もしも災害がおきた場合には、冷房設備が整備されている施設等を優先して避難していただく等のシミュレーションの見直しが必要になってくると考えている。

町長

避難所への冷房設備の設置では、今後、体育館を管理する教育委員会と連携して、導入に向けた検討が必要になってきていると考えている。また、避難所が停電した場合に備え、非常用電源の設置についても併せて検討していく必要があると考えている。

教育長

現在、学校施設の適正規模及び適正配置に関する方針策定を諮問中であり、その答申も考慮し、移動式クーラーの導入も含めて、環境防災課と連携しながら検討したい。また、猛暑の中、もしも災害がおきた場合には、冷房設備が整備されている施設等を優先して避難していただく等のシミュレーションの見直しが必要になってくると考えている。

ヤングケアラー

実態を把握せよ

教育長 相談できる体制を整えている



わたなべ いくこ 議員 渡部 伊君子

問 ヤングケアラーとは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満のこどものことである。責任や負担の重さより学業や

友人関係、身体や精神などに影響が出てしまっている。しかし、ヤングケアラーの実態は十分に把握されておらず必要な支援が届いていないのが現状である。本町において、このヤングケアラーについてどのように考え、どのように対応していくのか。



ヤングケアラー 見逃さない

町長

令和4年度の県調査時点では、本町においてヤングケアラーとしての認定や支援を行った事案はなかった。

ヤングケアラーと自分自身が認識してもらえよう、あるいは、周囲が理解を深めるよう小学校高学年や中学生、民生委員児童委員の方にパンフレット等を配布し周知している。

町の支援は、個別事案では児童福祉部門と教育部門が連携し行うほか、認知度向上に向けた啓発活動などが必要と考えている。

教育長

週1回スクーラーカードが各学校を回り、情報収集を行うことで教育委員会としても常に実態把握に努めている。また、専門家と連携して、困ったときに相談できる体制を整えている。

12人の提言

一般質問 Q & A

スポーツ施設

備品・器具を更新せよ

教育長 優先順位決めて予算確保

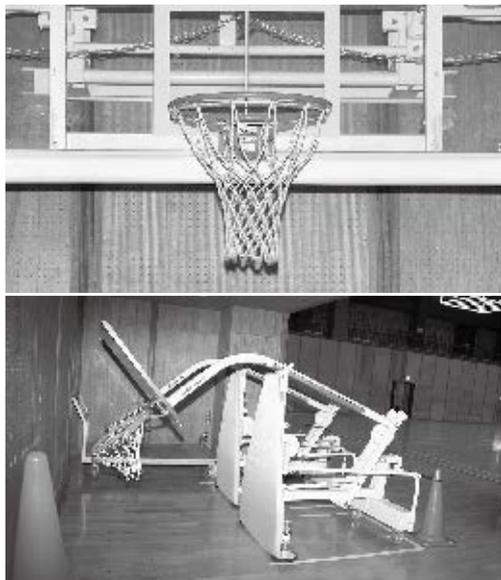


おくやま やすひろ 奥山 康宏 議員

問 スポーツを適切に行うことは、健康面の体力づくりや、精神面の向上、安定に大きく貢献している。

関心も高まっているが、本町のスポーツ施設の器具について、スムーズに更新されていないものも見受けられる。総合体育館のバスケットリングや、各種競技の耐用年数を過ぎた備品については、今後どのように更新していく予定なのか。

町民のスポーツへの



古い器具を点検・更新

教育長

総合体育館のバスケットリング

2セットは、老朽化のため令和元年度に撤去・更新し、内1セットは壁の強度の関係から移動式の小学生用の高さのものを配置した。そのため、小学生以外は中学校の体育館等を利用いただくようお願いしている。

社会体育施設の器具等の更新は、基本的には利用団体から指定管理者に提出された要望に基づき、指定管理者への聞き取りを行い、全体を把握の上、安全性確保のため緊急性の高いものから優先順位を決めて、予算を確保するようしている。年度途中で、緊急的な措置が必要になったものについては、その都度判断し、予算の範囲であれば、整備をおこなっている。

農業

中山間地域を支援せよ

町長 国や県の支援策を組み合わせ検討



よしみや しげる 吉宮 茂 議員

問

従来の人・農地プランに代わり、地域農業の将来像を明確化する「地域計画」の策定が2025年3月までと義務付けられた。

農業者の減少・高齢



高齢化で不安な中山間農地

化が著しい中山間地域に対する農業経営体の育成、支援にどう取り組むのか。

町長

地域計画づくりは、自分が経営していくのか、集落営農など自分たちで経営していくのか、地域外の方に委ねていくのかを考える機会である。担い手として位置付けられた方には、国や県

の支援策が重点化される。中山間地域では鳥獣被害対策を含め、それらに町支援策を組み合わせる省力化や付加価値づくりにつなげ、所得を確保できるように、農業委員会と連携し努めてまいりたい。

農業委員会 町長

地域計画策定で農業委員

会は、農地一筆ごとに誰が耕作していくか示した目標地図の素案を作成する。町と共に地域の話し合いに参画し、中心となる経営体を見込んで支えていく観点を含む地域計画を作り上げていきたい。

**まちづくり 地域づくり推進
センター 支援本部を設けよ**

町長 コミュニティ推進係を設置



推進・支援本部をどこかに



いとう かずみ 議員
伊藤 和美

問 本町のまちづくりセンターが地域の運営組織によって運営されており、今後、移行する予定もある。地域の運営組織が、地域の実情及び課題に応じて住民福祉の増進を

図る取り組みを行うためには、行政のバックアップが必要となる。地域の将来に備える地域づくりのため、今後の見通しをしっかりと共有し、協働できるように「地域づくり推進・支援本部」を設けてはどうか。

また、ボランティアの育成やNPO活動に力をいれないか。

町長

行政のバックアップ体制として、新たにコミュニティ推進係を設置した。また、情報共有を図るため、地域運営組織の事務局長、集落支援員と町の関係課が同席し、月1回の定例会を開催しているほか、各組織の三役を入れたトップ会議も開催している。現在、それぞれで地域ビジョンの策定に取り組んでおり、各部会や全体会に町担当者も参加し、課題や将来の展望などの情報共有を図っている。

NPO活動に限らず、地域づくり活動、地域商社、起業と、若い人材を含めて働きかけをしている。

地域医

急げ 医師の確保

町長 町内の医療機関・医師会と連携



いしかわ たけとし 議員
石川 武利

問 県内で、長年、地域住民への医療提供に尽力されてきた個人の開業医が、最近の諸事情及び後継者不足等により閉院せざるを得ない事例が少

ずつ増加している。本町においても、同様の事態が将来懸念される場所がある。地域にとっては大きな問題であり、医師の確保については喫緊の課題である。医師をめざす学生たちの支援について、町で予算化し医師確保に向けてのことも考えられる。町の地域医療の展望をどのように考えているか。



さらなる医療・医師の充実を

町長 庄内町でも、令和4年度に余目地区で1件閉院があり、令和5年度に入り、狩川地区の医療機関から9月末を持って閉院するとの連絡があった。いずれも、高齢化などの健康によるものである。まずは新たに開業される方が現れることを期待したいところであり、情報収集と働きかけをしっかりとやっていく必要があると思っている。

現在開業されている病院も、同じ課題を抱えている所があるものと受け止めており、医療機関の減少が町民生活に大きく影響してくるものと推測している。今後も、町内の医療機関や庄内余目病院、酒田地区医師会との連携を密にし、町内の医療体制を維持できるようにしていきたいと考えている。

伊藤 和美 議員

一般質問

石川 武利 議員

ここが聞きたい Q & A

12人の提言

一般質問 Q & A

立川 中学校

存続させよ

教育長 町内一校が望ましい



加藤 将展 議員

問

学校適正規模・適正配置審議会は中学校を余目中学校に統合する答申案を出している。

しかし、アンケート調査結果を踏まえ、多数決ではなく、直接影響のある地元の方々、地域を支えていく若い方、保護者の方、中学校教員などの声を十分に反映した形で進めるべきではないか。



どうする立川中学校

つた中学校として存続させてはどうか。

教育長

アンケートは、幼・保・小・中の保護者、町民、教職員2,361名を対象に実施し、回収率は61.6%であった。中学校に関するものでは4学級以上を望む方は54.6%と一番多く、また、

学校数を減らし重点的に整備していくという考え方は54.2%であった。今後は、審議会から答申をいただき、パブリックコメントを実施し、町の総合教育会議で基本方針を決定したいと考えている。

立川中学校を小規模校のメリットを生かし存続させることについては、審議会でも議論になった。良さがある反面、切磋琢磨ができないことや児童生徒の推移予測などから、複数学級、町内1校が望ましいという形で意見が整理された。

立川庁舎 外壁工事 早急にすべき

町長 大規模事業の中で検討



アスベスト 負の遺産を残すな



齋藤 秀紀 議員

問

立川複合拠点施設では、外壁にアスベストが含まれている事と内装に多額の費用を要したため外壁工事をしなかった。このことは、議会に説明もなく勧められたこと

とで非常に残念である。将来的に庄内町の人口が増える見通しがないことからアスベストが含まれている外壁を後世に後回しすることは、財政的に見ても適切ではない。現状の課題はその都度解決するのが望ましいと思う。以上のことから、早急に外壁工事をすべきと思うがどうか。

町長

立川複合拠点施設整備の設計時の見立てでは、躯体に構造的な危険性や劣化が見上からは見受けられなかったことから、重要な上下水道、電気、空調などのインフラ部分を最優先に進めてきたため、基本計画時から外壁改修の予定はしていなかった。しかし、基本設計、実設計段階で、施工に伴い外壁の一部に手をかける必要が出てきたため、調査したところ、アスベストの含有が認められたという経過がある。そのため、一部外壁のみアスベスト除去を行い、施工したところである。

今後は、町全体の大規模事業の中で検討していくことになろうかと思っている。

職員定年 延長職員のスキルを活かせ

町長 職務も考え検討している



経験の伝授は町益



おの かず はる
小野 一晴 議員

経験と知識を生かしているように感じられない。役職を離れた後もモチベーションをもつて仕事できる職種を創出することが町益になると思いますが、どうか。

問 法改正により、令和5年度から職員の定年年齢が2年に1歳ずつ65歳まで上がる(定年延長)となる。
これまでの再任用職員の状況を見るとその

町長

再任用職員の配属先は、退職前までの職種や担当業務を踏まえて決定しており、本人が培った経験や能力を十分に発揮しているものと捉えている。

60歳を迎えた職員が、町の大きなプロジェクト等を考えていくというようなことも一つの提案として受けとめた。定年延長になる職員については、そのような職務も考え検討している。

一方でこれから担う若い世代、補佐・係長級の職員からも町の施策には携わってもらわなければならない。新人からベテラン、管理職、立場が違えども仲間として、同じ目的を持ち頑張っていただけのような環境整備には配慮していきたい。

LPガス

軽減策を図れ

町長 料金軽減は難しい



スルタン ノール 議員

問 円安・物価高騰による町民への影響をどのように捉えているのか、また、全ての町民の生活を守る支援はあるのか。LP

ガスの使用者は、自治体がLPガスの軽減策を実施しない限り、LPガス価格の上昇分の軽減がされる値引きはありません。10月以降もこの不平等感のある支援がない状態が続くのか。LPガスの支援について問い合わせたい時の窓口はどこになるのか。



忘れないで LPガス利用者に支援を

町長

円安・物価高騰は、町民、家計に大きな影響を与えていると捉えている。本町では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の推奨メニューに沿い、困窮している生活者、事業者支援を進めてきている。

LPガスは、都市ガスのように、国が直接行う全世帯助成はないようである。多数の販売事業者を介しての料金軽減が難しいためのものである。交付金を活用し、LPガス利用者を支援している自治体も見受けられるが、本町では、支援事業に優先順位をつけて検討した結果を、今定例会に補正予算として提案させていただいたところである。LPガス担当はないが、まずは総務課が窓口となり対応していきたい。

生かせ提言



提言は抜粋です。
詳細はホームページを
ご覧ください。



庄内町議会HP

総務文教厚生 常任委員会

テーマ： 性教育について

調査事項

- 命につながる教育としての性や生殖に関する正しい知識
- 学校教育での性や生殖に関する指導
- 家庭では、性についてどのように伝えているのか

提言1 人権教育を基本に 取り組みについて

本町教育振興計画内 での表記

● 包括的性教育や青森県教育委員会の性に関する指導での目標を定めている。町でも、自分や自分以外の人も大切にすると人権の尊重から性を学ぶ教育にも重点を置き、性に関する教育の取り組みについて、基本的な部分にしっかりと記述すべきである。

県の発行する教職員の ための指導資料「性に 関する指導」の有効活用

● 本町の学校教育研究所や学校現場でも、養護教諭や教職員は有効に活用すべきである。

提言2 学校教育における 専門的外部指導者 の活用について

医師会との連携

● 専門的外部指導者を安定的に派遣して頂くために、産婦人科医等による性教育の実現に向け取り組むことを検

討すべきである。そのためには、酒田地区医師会との協議の場を図っていくべきである。

また、医師会の協力は不可欠であり、産婦人科医不足の現状からも広域的に県医師会・隣接の鶴岡地区医師会にも専門的外部指導者の重要性を働きかけ、事業実施に向け協力要請をすべきである。

予算

● 庄内町の小中学校7校で、年一回実施するとして、八戸市のちを育む教育アドバイザー事業に係る経費を参考にすると、年間事業総額15万4千円となる。今後、医師会と協議した上で、予算計上を図るべきである。

提言3 性の話題を気軽に 話せる環境づくり について

社会教育(生涯学習) の場において

● 「性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)」に関する意識



ゴット先生の話 わかりやすいね 後藤敬子先生講話

の浸透を目的とした、社会人が学ぶ機会を提供してはどうか。性暴力や性犯罪を防ぐための町民を対象にした防犯講座の開催を防犯の取り組みとして、また、女性の健康問題や性に関する学習機会を、社会教育や男女共同参画事業で実施すべきである。

図書館の活用

● 読みやすい本が増えているので、幼児対象に性に関する絵本の読み聞かせの機会を拡大提供すべきである。● 知の拠点として、適切な年齢層に合わせて

性についての知識を提供し、健全な性教育をサポートすべきである。安心して話ができる環境と情報発信

● 本町でも助産師や保健師とつながり、安心して話ができる環境づくりのために、県の前講座事業を利用した保健師の派遣依頼を活用すべきである。また、対面では話しづらい時の対応として、SNSやインターネットを通じて相談できる公的機関の連絡先を、目につくように何度も周知すべきである。

より良い町づくり

産業建設 常任委員会

テーマ： 林業振興について

調査事項

- 林業の後継者対策
- 森林の有効活用
- 林業を長期的・安定的な生業とするための施策

● 経営や管理が適切に行われていない森林について、森林所有者と十分な話し合いを重ねたうえ、意欲と能力のある森林経営者を育成し、市町村がその仲介役となり、つなぐ仕組みを構築し、林業経営に適した森林の経営管理を集積・集約化すべきである。また、その際、地元林業経営者と共に、地域おこし協力

提言1 森林経営管理制度の進め方と林業振興策

隊の採用も検討すべきである。



羨ましい定着率 地域おこし協力隊員

地域林政アドバイザーの配置

● 県は、制度運用や個々の工程に関する技術的指導・助言、人材の育成支援を行っており、市町村に対しては、技術的な実務の担い手となる「地域林政アドバイザー」等の人材育成や人材情報の収集・提供を行っている。本町においても、研修会へ積極的に参加するなど、技術的指導及び助

言を行える職員の育成を図るべきである。また、農林課の職員は異動もあることから、制度を活用し地域林政アドバイザーを配置すべきである。

提言2 更新 人工林の活用と 民有林の積極的な活用

● 伐採適期を迎えた民有林については、庄内町森林整備計画や「やまがた森林ノミクス加速化ビジョン」を基に、林業関係者と行政との協議のなか、森林機能の持続的な管理を図ることを目的として、民有林の積極的な活用の方角性を定めるべきである。

提言3 森林所有者情報 の整備

境界の明確化

● 本町でも森林情報を迅速に把握することが可能な森林GISや高精度のGPS、ドローン等を活用して現地確認の効率化を図る取

組みを更に進め、県や森林組合とも連携し、境界の明確化に努めるべきである。

提言4 先進地事例 自伐型林業の育成

● 先進地事例からも、町内だけでは林業後継者の育成は困難であることから、町は、協力隊導入目的・意義を明確化し、林業の地域おこし協力隊を積極的に受入れるべきである。また、町内においても林業の魅力を発信し林業従事者の参入を図るための施策を行うべきである。

提言5 公共建築物等木材 利用の促進

基本方針の策定

● 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、本町の地元産材利用の基本方針を早急に改定すべきである。

第7回 参考人の意見を聴く会

詳細は議会HPで
ご覧いただけます。
議会中継サイト

決算特別委員会において2人の町民に参考人として、議場で意見を述べてもらいました

※要約、抜粋で掲載



歩くのは大変

見守り隊をして4年になります。毎年梵天町は冬期間、強風と車が通れなくなるほどの吹き溜まりができ、大変危険な通学路で大人も歩けない日があります。事故が起こってからは取り返しがつかないとの思いから引き受けました。

通学の現状を伝えたい
(参考人)

参考人を引き受けた理由をお話ください。
(議員)

**冬期スクールバス
運行の必要性**

担当議員 スルタンヌール



《氏名》 半澤真友
《所属》 小学校安全見守り隊
《集落》 梵天町

夏休み明けから熱中症対策のためのスクールバス運行をしていたら、米沢の事故が起きてからの対策でした。今回の冬期間スクールバスを運行していただきたいという要望の件は、事故を未然に防ぐための意見です。この問題をさらなる調査検討をして頂ければ幸いです。

事故が起きる前に
(参考人)

解決策として、何か案や参考人の思いがあればお話ください。
(議員)

梵天町響ホール付近には、暴風雪のための防護柵はもちろん、代替品もありません。今年度の登校班の半分は、体の小さい1・2年生です。保護者の方からは飛ばされて学校に行けないのではなにかと不安の声があがっています。

暴風雪時1・2年生が心配
(参考人)

庄内町商工会員の小売業数は2001年207社から2023年117社になり、43%減少しその傾向は止まりません。庄内町商業年間販売額については、1997年〜2014年で33%の減少です。また、現在の商工会は小規模企業振興基本法により、個店への支援が強化されました。しかし今までのような、商工会組織による地域振興に付いては思うよう

小売業数が減少
(参考人)

商店街の現状や課題についてお話ください。
(議員)

住民・事業者・行政、三方良しのデジタル化へ

担当議員 阿部利勝



《氏名》 秋葉正一
《職業》 紳士服販売
《集落》 猿田町

テジタル化の視察先では「商店は公共物」との思いから、行政と連携したポイントとさらにマイナンバーポイント還元事業やプレミアム商品券事業を行っていただきました。これは「ペイペイなど大手に手数料持っていくならその金額を私たちの地域に循環させよう」と地域を巻き込むDX化が出来れば持続可能な組織として運営できることでした。それが地域の共生・共助、地域づくりのツールになるのではないのでしょうか。地域カード化としてのハウス電子マネーを使えば、加盟店手数料は売上の1.5%

に出来ない状況となつていきます。そんな中、行政とともに進めるデジタルツールが必要で、早急に地域の経済力を集中する事が必要と考えます。

では、DXの方向性やご提案をお話いただければと思います。
(議員)

地域を巻き込むDX化を
(参考人)



ハウス電子マネー (下郷町)

簡単に言えば、一定の地区とか特定のグループの中といったような使用場所を限定した独自マネーの事です。現金をカード、スマホにチャージして使えます。ぜひ、地域カード化の実現、ハウス電子マネーを使い、共生・共助の地域を創出し、少子高齢化社会を明るく迎えられることが出来れば嬉しいですね。

ハウス電子マネーで地域創生
(参考人)

ところでハウス電子マネーとはどんなものですか？
(議員)

位となり、さらに運営経費も地域で循環出来ることとなります。それをポイントとして住民に還元すればそれぞれ地域が一つになり、住民・事業者・行政、三方良しになると思います。

健康保険証を廃止しないよう 求める意見書 (趣旨は抜粋)

政府は現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードと健康保険証を一体化し、マイナンバーカードを保険証(マイナ保険証)として運用するとしている。しかし様々なトラブルが多発し、来秋どころか既に現時点で運用に関し懸念の声が上がっている。

このまま健康保険証のマイナンバーカードへの一本化を進めれば国民皆保険制度の根幹を揺るがすことや健康被害にも繋がりがかねない。また、個人情報保護という観点からも重大な懸念が生じていることから下記の事項について強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1. マイナンバーカード保険証のトラブルの原因を究明し、ヒューマンエラー等のトラブルが起りにくいシステムを構築すること。

2. マイナンバーカード保険証が普及した後も、当面は、現行の紙による健康保険証を廃止せず、選択制にすること。

提出先

- ・衆議院議長
- ・参議院議長
- ・内閣総理大臣
- ・厚生労働大臣
- ・総務大臣
- ・法務大臣
- ・デジタル大臣

意見書(案)提出の経緯

9月定例会において、伊藤和美議員(賛成者阿部利勝議員 奥山康宏議員)より、意見書案が提出されました。総務常任委員会に付託され、委員会では賛成多数で一部修正となりました。本会議では、一部修正を含め賛成多数で議決され議長名で意見書を提出することになりました。

初の議員による意見書(案)提出

町村議会は、議長名で町村の公益に関する事件についての意見書を国や関係行政庁に提出する権限があります。

これまでは、国民から請願があった内容を議会で精査し、採択した場合は意見書にまとめて国等に提出しています。今回のように議會議員が提案者となり国に意見書を提出したのは、本町議会で初めてのことです。

主な反対意見

議案上程の際、酒田・鶴岡医師会関係の確認を指摘したにもかかわらず、委員会で確認していないこと等、反対意見が述べられました。

賛成した議員

吉宮 茂
工藤 一
小野 啓
五十嵐 伊
渡部 康
奥山 利
阿部 勝
加藤 展
伊藤 美
石川 利

反対した議員

上野 幸美
スルタン ヌール
齋藤 秀紀

次回

庄内町議会
12月定例会の会期は

12月5日(火)~13日(水)の予定です

みなさまの傍聴をお待ちしております。傍聴は短時間でもできます。

※4階議場への昇降が困難な方は、エレベータをご利用いただけます。

なお、介助が必要な方は、議会事務局(TEL 0234-42-0189)へお申し出ください。
発熱など、体調不良の方はご遠慮ください。



議会中継サイト

インターネット 議会中継 配信中

庄内町議会のホームページからアクセスできます。
(9月定例会中継(LIVE)映像アクセス件数:1507件)

- 図書館ロビー、各地区のまちづくりセンターでも生配信をご覧になれます。
- 会議後1週間程度で、録画配信をしています。
- スマートフォン、タブレットなどでも生中継、過去の映像を視聴できます。

① 庄内町議会検索

庄内町議会



② トップページ画像下の

議会中継 をクリック

※ スマートフォンなら

令和5年 ライブ 全て

の ライブ ボタンをクリックするなど。

※ミニバイク走行：令和5年度より、150ccクラスまで走行可能

※エンデュロ大会：自然の地形を生かしたダートコースを舞台に、ライダーの技術と体力を競うレース種目

生声ひろば

プロレーサーへの夢 モータースポーツ庄内町

モータースポーツとは

他のスポーツ競技が人間の身体を用いて行われる以上、基本は身体活動であって、用具はあくまでも用具に過ぎません。これに対してモータースポーツは、用具(車・バイク)そのものが重要な戦力(能力)であって、技術進歩により記録が大幅に左右される特異性があります。そのことから、モータースポーツ競技とは、その用具を用いた総合的な競技といわれています。



いつかはF1レーサー

生かせ本町の特徴

県内唯一のサーキット場として、カートとミニバイク走行(レース)ができるサーキット「カートソレイユ最上川」があり、オフロードバイク施設としては「セーフティパーク最上川」があります。また、立谷沢南部山村広場周辺では、地形を生かしたエンデュロ大会(表紙)として、「ハート

県内唯一のサーキット場

イン月山」「べが月山」「龍神月山」「ファンデュエーロ月山エンデュエーロ」と名称を変えながら、昭和54年から40数年開催を続けています。

県内はどこもすばらしい自然を有し、自然景観でのPR合戦は激戦です。オンロード&オフロードのモータースポーツ施設、そして豊かな自然は本町の特徴といえます。

課題

モータースポーツは特殊なスポーツとみられ、町民の利用が少ない施設なので、という話が聞かれます。そのぶん、交流人口としては、他市町村からの利用はもちろんのこと、県外からの参加も少なくありません。

対策

カート場では、ライセンスを必要としないレンタルのスポーツカート6台を有し、ヘルメット、手袋、長袖上着を無料で貸しており、手ぶらで来ても乗車できます。レンタルカートの耐久レースやタイムトライアルのイベント開催、また、カートの無料体験・町民割引を行っています。

レンタルカート2時間耐久レース



なごやかに表彰式

町民の声



大川 義明 (囲町)

9月24日に開催されたレンタルカートの2時間耐久レースに参加された狩川の大川義明さん(66歳)チームは3位に入賞されました。

「レンタルカートレースは車の整備代もかからず、フルスロットルでコンマ1秒を削る戦い。健康増進とストレス解消に度々参加しています。中学生に無料開放したり、グラウンドゴルフのような集落対抗など、庄内町のキャラとして、他市町村との差異化として、もっと活用やPRができるんではないかと思えます」

○ようこそそ議会傍聴へ(アンケート等)

議員へ

9月定例会を傍聴して (原文要約・抜粋)

議会全体へ

- ・質問のやり取りで、言葉が聞き取りにくい。
- ・質問内容は事前に決めると思いますが、他議員と重複しないように調節するのでしょうか。
- ・はっぴーバスの利用料金が町内でも変わることは知らなかった。
- ・議員は任期中にどれ位、公約を果たせたか、振り返りを公表して頂きたいです。既にやっている方もいるようですが、全員に義務としてやって頂きたいです。
- ・町の説明が良かった。議員は自分の質問でない時の態度が悪い。
- ・議員は町のチェック機能を持っている。ガンガン行くべし。
- ・学校適性化が進んでいる。もっと総合的に考えよう。
- ・学童保育については、質問した議員に賛同です。
- ・議員も町の職員も真剣に取り組んでいる姿を見ることが出来てよかった。
- ・議会報告書では感じ得ない生のやり取りが見え聞けた。議員の調査発表の場合なのかギモン。
- ・質問に対して適切な返答がなされない場面があった。議員がいろいろ詳しく勉強、調べて質問している事に感心した。議員から質問だけでなく、色々提案がされている事は望ましいことだった。

- ・身近な問題で勉強になりました。
- ・クラッセも北月山荘もあまり利用していなかった。たので、利用したいと思いました。
- ・女性の質問、答弁はよく分かった。男性の声が聞きとれなかった。
- ・役場の説明が聞きにくい、もう少し声を大きく。
- ・以前より、あった課題がよくみえない。こと細かな質問はよい。北月山荘の扱いは、充分なる集客のため努力して欲しい。町の一番看板にして欲しい。立川観光について楯山公園の整備に力を入れて欲しい。
- ・議会に花(トルコギキョウ)心が和む、良かった。話が聞こえなかった。
- ・町の財政がわかる質問であったが、この時世、少しゆとりが必要であると思う。しかし、町民の税金である事もしつかり頭に入れて、町政を担ってもらいたい。(議員のみでなく)
- ・庄内町には老人が沢山いて、北月山を利用したい人もいっぱいいると思います。団体バスを企画して欲しい。大自然、食事、温泉最高です。
- ・町の説明は良かった。音声がよく言葉がはつきりしてよかった。
- ・クラッセの件は、より良い方向で運営を進めて頂きたいと思います。
- ・議会の質問の内容が良かった。スポーツ施設について町の説明の内容が良かった。スポーツ施設にもっと力を入れて、しっかりした物を作ってもらいたい。
- ・ヤングケアラーに時代を感じた。質問、我町でもこのようなことが問題になる等、考えさせられる場面もあった。
- ・地域の環境整備の過程などが分かってよかった。

・上山市のように年1回サンデー議会を開催してはどうか。

・将来、個人開業医不足が心配だ。

・新庄酒田は早期に完成を目指してもっと頑張るべきだ。陸羽西線は廃線にならない様、要望すべきである。

・議事休憩が始まってから再開までの残り時間の表示は出来ないものか。

アンケート集計結果(69人中)

- 1 傍聴にきてよかった
 - 2 勉強になった
 - 3 おもしろかった
 - 4 緊張感があった
 - 5 議会が頑張っているのがわかった
 - 6 町の動きがわかった
 - 7 議会のやりとりがわかった
 - 8 議会の主旨がわからない
 - 9 質問の主旨がわからない
 - 10 答弁が適切でない
 - 11 ネット中継で十分だと思った
 - 12 議会の熱意が伝わらなかった
- (12項目・複数回答)

9月定例会 傍聴者数80人

5日(火)	議案等審議	0人
6日(水)	議案等審議、 決算特別委員会	1人
7日(木)	一般質問	68人
8日(金)	一般質問	6人
11日(月)	各常任委員会	
12日(火)	決算特別委員会	4人
13日(水)	決算特別委員会	0人
14日(木)	決算特別委員会	1人
15日(金)	各常任委員会	
19日(火)	議案等審議	0人

町民と語る会

あなたの声を 議会に届けてみませんか！
お気軽にご参加ください。

余目地区・立川地区、2会場で同時開催(どちらかご都合の良い場所にご参加ください)
「語る会」は、各集落や様々な組織、団体に直接出向いていますが
今回は、特別企画として、町民誰でも参加できる方式とします。

期 日 令和5年11月17日(金) 午後6時30分から

会 場 1. 庄内町文化創造館響ホール(小ホール)
2. 立川複合拠点施設(旧立川総合支所) 2階 活動室2・3

テ ー マ 決算・参考人の意見・議員の質問等・ご意見をお寄せください。
もちろんその他も歓迎。
今月の議会広報「こんにちは庄内町議会 No.80」
記事内容をベースに行います。

問い合わせ先 庄内町議会事務局 電話(0234)42-0188



花き提供
庄内町花き振興会と地域おこし協力隊員より生花を提供いただきました。
地域おこし協力隊員の尾曲さんから研修過程で栽培したトルコギキョウを提供いただき、飾っていただきました。

広報委員に、新たに石川武利議員が選任され、副委員長は渡部伊君子議員に決まりました。

メンバーも新たに!

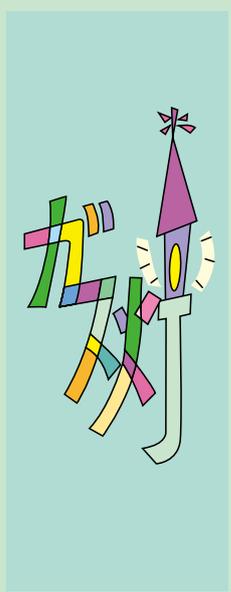
青い空、白い雲、小さなトンネルをくぐり坂を登ると、目に映る鳥海山。私は朝、この景色を見るのが大好きだ。特に青い空にハッキリ映る鳥海山を目標にした日は、気持ちも晴々して、今日一日、がんばろうと思う。一年前もだいたい心の支えになった。議員になって一年になる。あつという間の一年だったように感じる。

庄内町の議会広報は町民に分かりやすく、開かれた議会広報づくりに力を入れている。年に一度山形で、二年に一度東京での広報研修もあり、とても勉強になる。初めの頃は、無難に区切まで完成させることだったが、今では「今回から

青い空、白い雲、小さなトンネルをくぐり坂を登ると、目に映る鳥海山。私は朝、この景色を見るのが大好きだ。特に青い空にハッキリ映る鳥海山を目標にした日は、気持ちも晴々して、今日一日、がんばろうと思う。一年前もだいたい心の支えになった。議員になって一年になる。あつという間の一年だったように感じる。

これからの委員一致団結、読む人に分かりやすく見やすい議会広報を目指していきたい。

(渡部伊君子)



発行人 議長 石川 保
議会広報常任委員会
委員長 阿部 利勝
副委員長 渡部伊君子
委員 石川 武利
委員 スルタンヌール
委員 奥山 康宏
委員 伊藤 和美